

つながろう、心で 広げよう、笑顔の助け合い！
 「地域助け合い基金」で コロナ禍を乗り越えて共生社会へ

活動報告書

申請時に当財団から通知した登録番号をご記入ください。

記入日: 2020 年 ○ 月 ○ 日

1. 団体情報

登録番号	100000 — A
団体名	さわやか町内会
担当者名	幸福 太郎

申請後に生活支援コーディネーターと連携した場合や、申込時の報告に修正がある場合はご記入ください。

2. 生活支援コーディネーターとの連携（申込時に報告）

ふりがな	ひろい きずな	区分	第1層 <input type="checkbox"/> / 第2層 <input checked="" type="checkbox"/>
氏名	広井 絆	電話	03 — 5678 — 1234
ふりがな	〇〇ちいきほうかつしえんせんたー	Email	hiro_i.kizuna @ marumaru-houkastu.lg.jp
連絡先（組織等）	〇〇地域包括支援センター		

貴団体が、生活支援コーディネーターにアプローチした際の状況などについてご記入ください

第2層生活支援コーディネーターの広井氏に、〇月〇日に面会した。居場所の説明をしたところ、地域の既存団体の情報や、協議体の活動を紹介してくれた

生活支援コーディネーターとの連携状況で、追記事項がある場合もご記入ください。

3-1. 助成金の活用結果報告（金銭面）

助成受領額	150,000 円	助成種別	コロナ: <input type="checkbox"/> I ・ <input type="checkbox"/> II / 共生: <input checked="" type="checkbox"/> III
-------	-----------	------	---

以下に活用の内訳と用途を具体的にご記入ください(ただし千円単位の報告とし、領収書等は不要)

2020年6月～8月にかけて申請通り使用しました。

<助成申請額> 150,000円

<申請した費用の使用用途と内訳>

店舗家賃	30,000円×3か月	=	90,000円
消毒スプレー、紙食器等の備品	15,000円×3か月	=	45,000円
水道光熱費	5,000円×3か月	=	15,000円

3-2. 助成金の活用結果報告（活動面）

本助成金を活用して、貴団体の活動が実際にどのような結果につながったのかを具体的にご記入ください

孤立した高齢者たちの居場所を商店街の空き店舗を活用して立ち上げ、週 2 回開催したら、1 回平均 12 名もの高齢者、3 名の子供が参加した。顔を合わせて話をする機会が生まれ、「ラジオ体操を始めてみよう」「手づくりマスクを子どもたちに届けたい」など話題が生まれた。SC に相談したところ、「したいことをみんなのできることは大切」とアドバイスをもらった。参加者が増えたことにより、3 密の問題をどうするかが課題。食事の希望もあるが感染の様子を見ながら検討したい。

今回の助成金の活用を通して
貴団体の活動の発展に向けた
気づきなどをご記入ください。

4. 今後の展開（自由記入）

次の項目は当財団からの情報公開により、地域の方々が貴団体の活動に協力してくれることを目的として、書いていただくものです

貴団体が今後地域の方にアピールしたいことを教えてください

地域への熱い思いや、活動を広げるためにもっと知りたいことなどどんなことでも構いません

孤立した高齢者を励まそうと居場所を立ち上げました。商店街の空き店舗にあることから、子どもも立ち寄るなど、誰が来ても楽しめる居場所となっています。生活支援コーディネーターから、子供関係の NPO 法人や、障害者団体の紹介を受けましたが、多くの人や団体とつながりたいと思っていますので、ぜひ一度お立ち寄りください。

多くの人が集まるようになったため、座布団や、紙コップ、紙皿等の寄付をお願いしたいと思っています。

■注意事項

- ・記入洩れや、添付洩れが無いように、ご提出前によく確認して下さい。
- ・記載スペースが不足する場合は、この用紙(フォーム)で簡潔にまとめた上で、別紙を添えて下さい。
- ・活動状況が分かる写真と、あればチラシ等もご提出ください。

(R20200529)